

自治体が定める「不妊治療支援事業助成金」の対象となる場合があります

いわき泌尿器科では 精液検査をおこなっています

いわき泌尿器科では、「一般精液検査」や「精子クロマチン構造検査」と「抗酸化力検査」の3種類の「精液検査」を実施しています。なお当院の各種精液検査は、自治体が定める「不妊治療支援事業助成金」の対象となる場合があります。お住まいの自治体のホームページなどをご確認ください。

■ 一般精液検査

精液の量や精子濃度、運動率、精子の形態(奇形率)などを顕微鏡を用いて調べる検査です。これらの項目を総合的に評価することで、正常な精子の数がやその活動力が十分であるか等のことがわかります。

一般精液検査 検査料金

① 検査当日に結果報告

保険診療

1,850円(税込)

自由診療

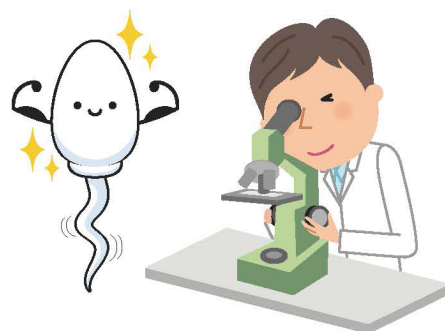
6,170円(税込)

② 検査後、別日に結果報告

2,080円(税込)

6,930円(税込)

※ご結婚後、数年経過しており、不妊検査等で診療をおこなう場合は「保険適用」となり、婚姻前のプライダルチェックとして検査をおこなうなど場合は「自費診療」となります。



■ 精子クロマチン構造検査(SCSA)

男性不妊症の患者様は、DNAの損傷を受けた精子の割合が多いと言われています。DNAの損傷割合が多い精子は、自然妊娠が難しく、また自然妊娠しても流産や出生児の健康に影響を及ぼすリスクがあります。

この精液検査では、精子のDNAの状態を調べることで、DNAが損傷している精子の割合をチェックします。これにより、男性側に妊娠・出産の妨げになるような要因がないか、精子に自然受精する能力があるかなどをチェックします。

※自由診療のみ

精子クロマチン構造検査(SCSA) 13,000円(税込)

■ 抗酸化力検査(TAC)

抗酸化力検査は、精液の活性酸素を無力化できる力の強さを調べる検査です。活性酸素は精子DNA損傷の主な原因と考えられており、精子の運動性にも影響を与えています。精液中の抗酸化物質が不足していると、精子の質が低下し、不妊の原因となる可能性が指摘されています。

この検査では、精子がどれほどの酸化ストレスを受けているか？精子の酸化ストレスが不妊の原因に関連しているか？などを調べることで、適切な不妊治療の選択をおこなうことができるようになります。

※自由診療のみ

抗酸化力検査(TAC)

13,000円(税込)

検査の流れ

① 診察

月曜か火曜日に泌尿器科外来を受診してください

② 結果

検査当日に結果確認をおこないたい方

検査後、別日に結果確認をおこないたい方

朝8:30~9:00までに泌尿器科外来の受付をおこなってください。検体を採取した後、15:30以降に検査結果の診察となります(※お電話での結果のご報告はできません)

検査日の翌日には、ご報告が可能です(※土・日曜日、祝日を除き)。

受付時間

午前
8:30~11:30

午後
15:00~16:15



公益財団法人

ときわ会 いわき泌尿器科

TOKIWAKE GROUP

〒973-8403 福島県いわき市内郷綴町沼尻62番地
TEL 0246-27-5522 FAX 0246-27-2908

HP



精液検査HP



検査のお申し込みはいわき泌尿器科「窓口」か「☎0246-27-5522」まで